

「在宅介護実態調査」の概要

1 調査の目的

次期高齢者総合計画の策定に際し、「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」「家族等介護者の就労継続」を実現するために、地域における介護サービスの在り方を検討するための参考とすることを目的として実施した。

2 調査対象者

在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けた方（判定期間：令和元年7月～令和2年2月）

＊施設・居住系サービス利用者及び入院中の方は対象外。

＊「江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査」の対象者は除く。

3 調査手法 郵送による調査

4 送付件数 859件（有効回収件数：580件、回収率：67.5%）

5 調査期間 令和2年3月13日(金)～令和2年4月10日(金)

6 集計方法

調査結果と要介護認定データを基に、国から示されたソフトを用いて、単純集計版とクロス集計版の集計結果を作成。